

奈良県に関する下の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

奈良教育大学附属中学校がある奈良県について、社会科で学習した「奈良時代」という語句からも歴史を感じる人が多いのではないかと。奈良県北部には、①奈良時代の様子を後世に伝える平城宮跡などの多くの②世界遺産がある。これらを一目見ようと、外国からも多くの③観光客が訪れるが、その理由の一つとして、④情報通信技術が進歩し、世界中に奈良の魅力が広まったことがあげられる。北部は古くから都市として発展し、現在でも人口が多い。

一方、南部は人口の減少が問題となっているが、⑤江戸時代には林業で発展した。特に吉野杉は酒やしょうゆをつくるときに使われる樽の材料(樽丸)として利用された。現在、南部で行われている⑥林業は「吉野林業」と呼ばれるが、その方法が定着したのは⑦明治時代を生きた「土倉正三郎」の活躍によるものが大きい。彼は『吉野林業全書』を出版し、日本全国に植林の技術を広めた人物である。

奈良県には歴史の面でも伝統的な産業の面でも後世に伝えていくべき魅力が多い反面、様々な問題もある。地域内で問題が起きた場合、⑧それを地域住民の意見を聞きながら解決し、都道府県や市町村が地方の政治に反映させていくことが求められるだろう。⑨身近な地域で起こっている問題を自分ごととしてとらえることが大切である。

(1) 下線部①について、奈良時代の農民が律令により課せられていた負担の一つで、各地の特産物を都に納める税の名称を漢字で答えなさい。

(2) 下線部②について、日本には多くの文化財があり、世界遺産に登録され、多くの人に語り継がれるように保全されている。下のア～エのうち、世界遺産に登録されていない建造物の一つを選び、記号で答えなさい。

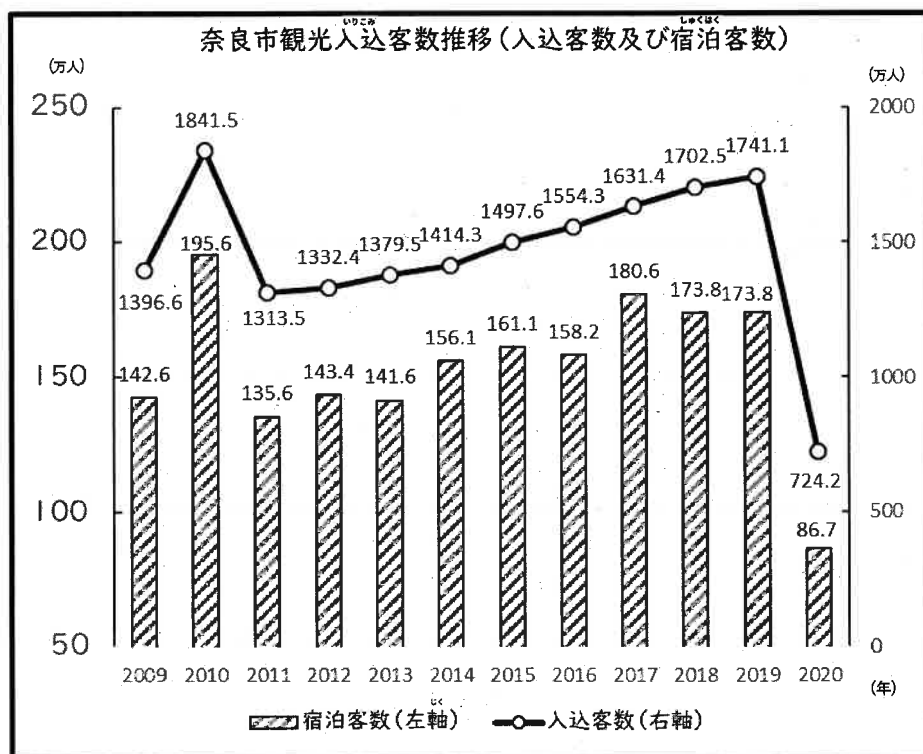
ア 法隆寺

イ 厳島神社

ウ 大阪城

エ 富岡製糸場

(3) 下線部③について、奈良市の観光業に関する以下の資料を読み取り、下のア～エのうち、誤っているもの一つを選び、記号で答えなさい。



(令和2年度 奈良市観光入込客数調査報告書より)

注) 入込客数とは…ある地点を観光目的に訪れた人数のことをいう。

ア 2010年、奈良市は年間で約195万人の観光入込客数を記録し、前年に比べ大幅に増加した。

イ 2010年、平城遷都1300年祭が開かれていた影響もあり、奈良市内の観光入込客数はこの年が最多である。

ウ 新型コロナウイルスの影響もあって、2020年の奈良市の観光入込客数は大幅に減少している。

エ 2009～2020年の期間内で、奈良市の宿泊客数が最も多かった年の数値は、最も少なかった年の数値の2倍以上である。

- (4) 下線部④について、情報化が進化した現在のくらしでは、様々な情報や情報機器を活用することが求められている。情報を得たり、その情報を広く発信したりすることができる技術のことを何というか、アルファベット3文字で答えなさい。
- (5) 下線部⑤について、江戸時代には東海道の名所をえがいた『東海道五十三次』や、『富嶽三十六景』などが大量に印刷された。下の図のような、版画で大量に印刷された多色刷りの絵を何というか、答えなさい。ひらがなで答えてもかまいません。



- (6) 下線部⑥について、間ばつ材の新たな利用方法として「木質バイオマス」が注目されている。「木質バイオマス」の使い方として下のア～エのうち、最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。
- ア 柱などの建築材をつくる。
 - イ 発電する際の燃料として使う。
 - ウ 割りばしなどの木工品をつくる。
 - エ 林道にしきつめることで、道をじょうぶにする。
- (7) 下線部⑦について、明治時代に起きた下のア～エの出来事を古い順番に並べ替え、記号で答えなさい。
- ア 国の費用で外国から機械を買い入れ、国営の富岡製糸場が建設された。
 - イ 日清戦争がおこり、勝利した日本は遼東半島や台湾などの領土と多額の賠償金を得た。
 - ウ 外務大臣の小村寿太郎が条約改正に成功し、日本の関税自主権が回復した。
 - エ 伊藤博文が中心となって憲法の案を作り、明治天皇の名で大日本帝国憲法が公布された。
- (8) 下線部⑧について、奈良市では、地域の良さや課題をふまえて「奈良市安全安心まちづくり基本計画」が進められている。地域の問題を解決するために、住民の意思に基づいて政治を進めていくことを何というか、漢字で答えなさい。
- (9) 下線部⑨について、問題用紙(3枚中の3)の地図は奈良市街の北部にある平城宮跡の周辺を示している。現在、位置を変更する議論が行われている大和西大寺駅から近鉄奈良駅までの線路を緑色で表している。下の文章を参考に、観光や環境、文化財の保存と活用など、バランスを考えてどのような線路の位置にするのが良いか、あなたの考えを200字程度で答えなさい。ただし、句読点も一字に含めます。
- ・歴史的景観の中に線路があることに批判が高まったことが、線路の位置を変更する動きのスタートになっている。
 - ・近鉄線は、平城宮跡の発掘調査が進められる前に開通している。調査が進むと、遺跡の範囲が近鉄線の南側まで広がっていることがわかった。
 - ・観光客へのアンケートの結果、駅から平城宮跡が遠いという意見が多く出されていた。
 - ・平城宮跡周辺の踏切では、土日だけでなく平日も渋滞が多く発生している。
 - ・鉄道会社は、費用負担が少ないことを希望している。
 - ・平城宮跡周辺の地下からは、現在でも貴重な木簡などの資料が発見されており保全が求められている。

(10) (9)で考えた線路の位置を、書き方の例に従って解答用紙のうら面の地図に濃くはっきりと書き込みなさい。なお、現在の線路と重なってもかまいません。また、途中の駅を増やしたり減らしたり、移動させてもかまいません。



(地理院地図 電子国土 Web より)

書き方の例

線路を地上に通す場合: —————

線路を地下に通す場合: - - - - -

線路を高架化する場合: +++++++

駅を新設する場合: 地下に駅を新設する場合:

*) 地図上に示してあるオレンジ色の部分: 建築物



解答らんに答えを書くときは、わく内に大きくていねいに書きなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7) → → →

(8)

(9)

100

200

(10)



(地理院地図 電子国土 Web より)

書き方の例

線路を地上に通す場合: —————

線路を地下に通す場合: - - - - -

線路を高架化する場合: + + + + +

駅を新設する場合: 地下に駅を新設する場合:

*) 地図上に示してあるオレンジ色の部分: 建築物

